くふうカンパニー

2025年9月期 第2四半期

連結決算 説明資料

2025年5月15日

株式会社くふうカンパニーホールディングス

目次

1. 2025年9月期 第2四半期 連結業績
2. 各事業セグメントの概況
    - 毎日の暮らし事業
    - ライフイベント事業

1．2025年9月期 第2四半期 連結業績

グループ構成（2025年5月1日時点、主要グループ会社を抜粋）

くふうカンパニー

- 毎日の暮らし事業を中心としたグループの構築に向けて、組織再編を推進

毎日の暮らし事業

- くふうカンパニー

✓ 2024年11月1日付で くふう AI スタジオ が RETRIP を吸収合併
✓ 2025年1月1日付で ロコガイド と くふう AI スタジオ を統合し、「株式会社くふうカンパニー」に商号変更
（2024年12月31日付で 持株会社は「株式会社くふうカンパニーホールディングス」に商号変更）

ライフイベント事業

- くふう住まいコンサルティング
- くふう住まい
- くふうウェディング

投資・インキュベーション事業

- くふうしずおか
- キッズスター
- ゴールドエッグス
- Seven Signatures International（SSI）
- くふうキャピタル
- くふうカンパニーホールディングス（投資事業）

連結業績 第2四半期 ハイライト

くふうカンパニー

- 売上高は 6,874百万円（前年同期比 99.7%）、営業利益は 201百万円（前年同期は ▲164百万円）、EBITDA は 774百万円（前年同期比 218.8%）で着地

各事業の進捗

毎日の暮らし事業	• 事業の統廃合やコスト削減の効果により利益は創出できているものの、売上高の成長加速に向けた対応が必要。
ライフイベント事業	**住まい領域** • くふう住まいコンサルティングは主力の建築コンサルティング事業が堅調に推移しており、リノベーションや規格住宅等の商材の多様化も推進。全社的なコスト見直しと不採算事業の整理等が、営業利益率の向上に寄与。 • くふう住まいはイエタテ事業が順調に拡大、出店強化に伴い費用発生が先行（Q2は2店舗を出店、前年Q2末から7店舗増加し合計15店舗に）。 **結婚領域** • メディア事業の市場環境は苦境が続く中、式場向けサービスのさらなる拡充により売上高は前年同期水準を維持。結婚式プロデュース事業は引き続き施行件数が順調に推移し、領域での黒字が安定化。
投資・インキュベーション事業	• SSIやキッズスターが業績に寄与、その他構成する各グルー プ会社の業績も堅調に推移。

連結業績 売上高

くふうカンパニー

- 売上高は 6,874百万円（前年同期比 99.7%）、通期業績予想に対する進捗率は 49.1%

	24/9期	25/9期			
	上期	上期※	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	**6,891**	**6,874**	99.7%	**14,000**	49.1%
毎日の暮らし事業	1,537	**1,431**	93.1%	-	-
ライフイベント事業	4,471	**3,997**	89.4%	-	-
投資・インキュベーション事業	1,051	**1,503**	143.0%	-	-
調整額	▲168	**▲59**	-	-	-

（単位：百万円）

※ 2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ（現 (株)くふうカンパニー）が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

連結業績 営業利益※1・EBITDA

くふうカンパニー

- 営業利益は 201百万円（前年同期は ▲164百万円）、通期業績予想に対する進捗率は 40.4%
- EBITDA は 774百万円（前年同期比 218.8%）、通期業績予想に対する進捗率は 48.4%

	24/9期	25/9期			
	上期	上期※2	前年同期比	通期予想	進捗率
営業利益	▲164	201	-	500	40.4%
毎日の暮らし事業	402	343	85.5%	-	-
ライフイベント事業	134	341	254.1%	-	-
投資・インキュベーション事業	▲51	230	-	-	-
調整額	▲649	▲713	-	-	-
EBITDA	354	774	218.8%	1,600	48.4%

（単位：百万円）

※1：2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。
※2：2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ（現 (株)くふうカンパニー） が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

連結業績 四半期

くふうカンパニー

- 当第2四半期は前年同期比で減収、営業利益は黒字で着地

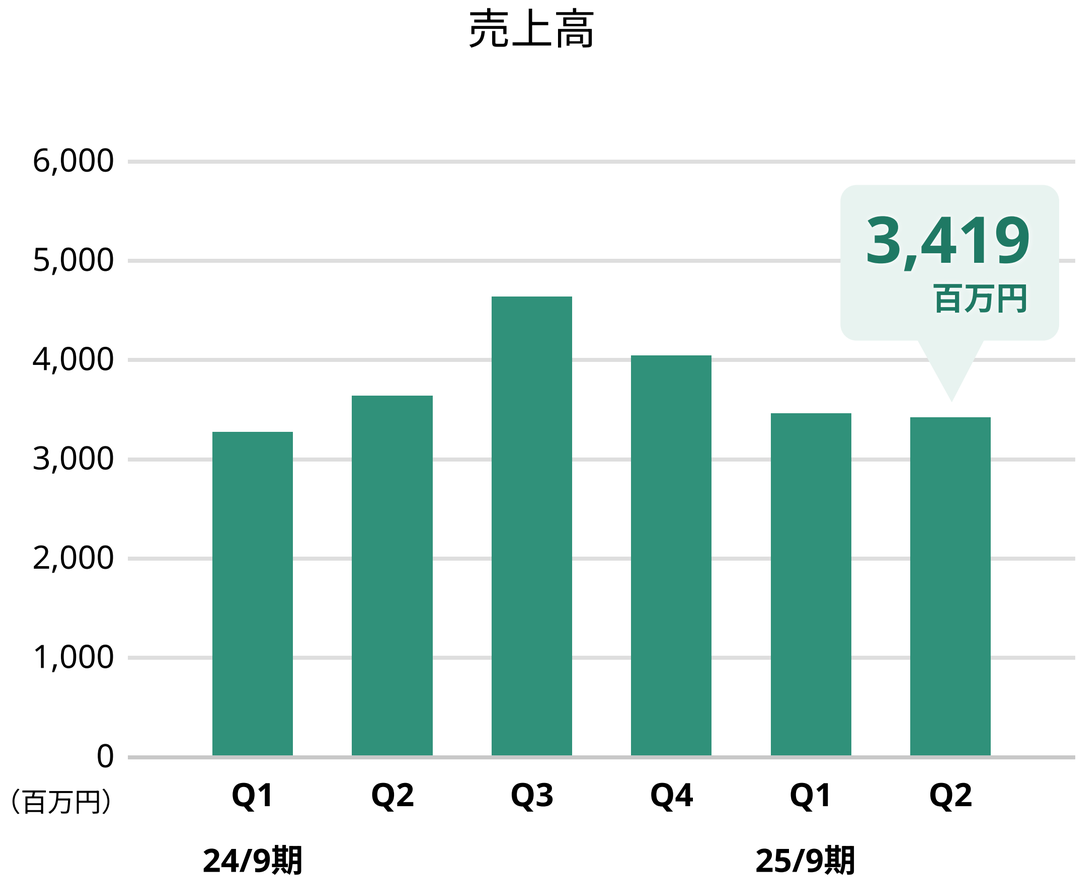
	24/9期				25/9期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前年同期比	前四半期比
売上高	3,263	3,627	4,623	4,028	3,454	3,419	94.3%	99.0%
営業利益	▲117	▲47	507	288	63	138	-	217.4%
EBITDA	134	219	779	571	346	428	195.4%	123.5%

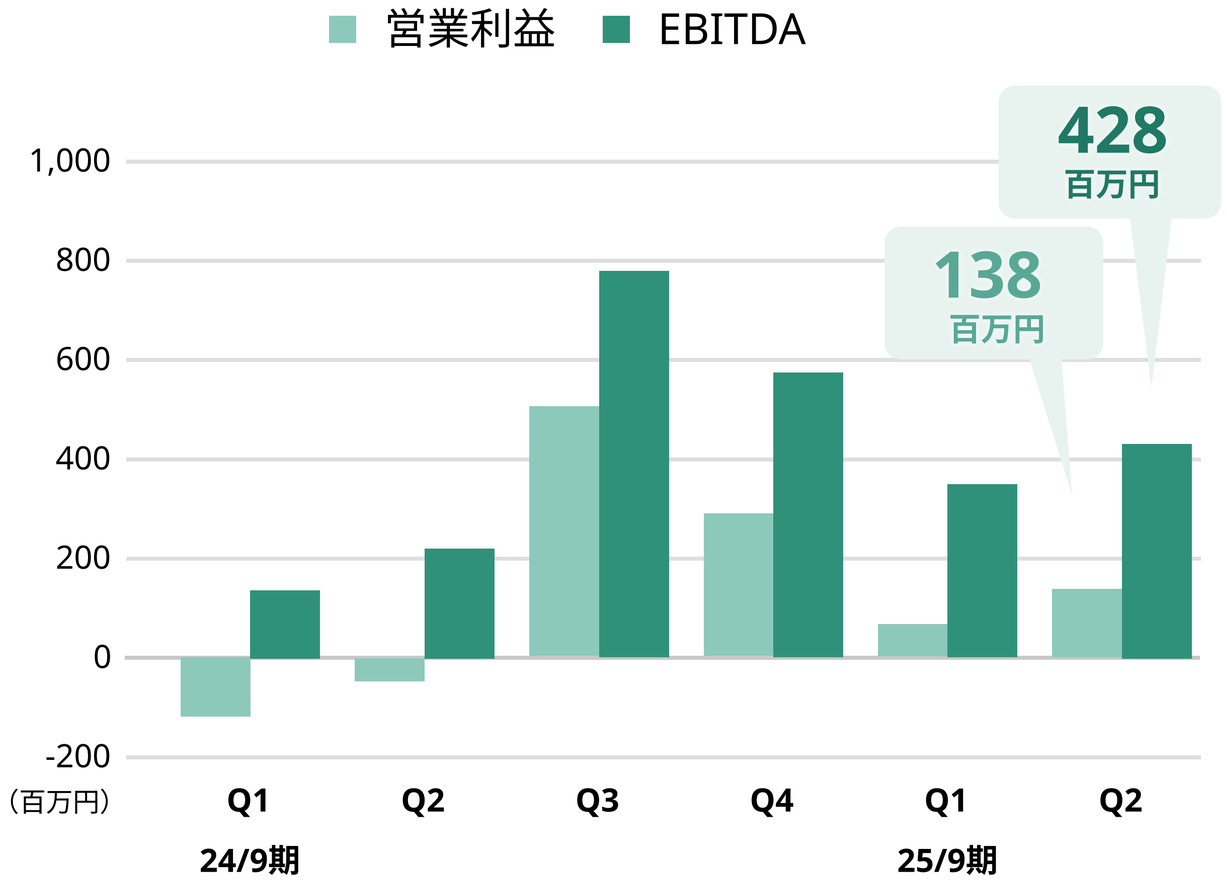
（単位：百万円）

連結業績 四半期推移

くふうカンパニー

- 当第2四半期は前年同期比で減収、営業利益は黒字で着地





連結業績 セグメント別 売上高（四半期）

くふうカンパニー

・毎日の暮らし事業はグループ内取引が減少、
　トクバイ事業は店舗課金が前年同期比で増加したものの売上高の大幅な拡大には寄与せず

		24/9期				25/9期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1※	Q2	前年同期比	前四半期比
売上高	毎日の暮らし事業	772	764	759	731	715	716	93.7%	100.2%
	ライフイベント事業	2,150	2,320	2,184	2,492	2,007	1,990	85.8%	99.2%
	投資・インキュベーション事業	426	625	1,752	862	763	739	118.3%	96.8%
	調整額	▲86	▲82	▲72	▲57	▲31	▲27	-	-
	合計	3,263	3,627	4,623	4,028	3,454	3,419	94.3%	99.0%

（単位：百万円）

※ 2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ（現 (株)くふうカンパニー）が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

連結業績 セグメント別 営業利益（四半期）※1

くふうカンパニー

・毎日の暮らし事業は事業の統廃合やコスト削減の効果が利益創出に寄与
・ライフイベント事業及び投資・インキュベーション事業も安定して利益を創出

		24/9期				25/9期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1 ※2	Q2	前年同期比	前四半期比
営業利益	毎日の暮らし事業	191	210	172	139	146	197	93.9%	134.9%
	ライフイベント事業	31	103	254	371	174	166	161.7%	95.5%
	投資・インキュベーション事業	▲48	▲2	470	143	109	120	-	110.2%
	調整額	▲291	▲357	▲389	▲366	▲366	▲346	-	-
	合計	▲117	▲47	507	288	63	138	-	217.4%

（単位：百万円）

※1：2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。
※2：2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ（現 (株)くふうカンパニー）が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

連結業績 B/S

くふうカンパニー

	2024年9月末	2025年3月末	増減額	増減要因
流動資産	12,805	12,145	▲660	
（現金及び預金）	7,505	6,197	▲1,308	
（営業投資有価証券）	1,691	2,053	361	
（販売用不動産）	1,483	1,936	452	・現金及び預金は、借入金の返済や営業投資有価証券及び販売用不動産の増加等により 1,308百万円減少
固定資産	6,055	6,176	121	
（のれん）	3,459	3,089	▲369	
（投資その他の資産）	1,107	1,538	431	
資産	18,875	18,334	▲541	
負債	6,705	6,441	▲263	
（短期借入金及び長期借入金）	3,555	3,170	▲384	
純資産	12,169	11,892	▲277	
（資本金）	30	30	-	
（資本剰余金）	8,635	8,623	▲11	・短期借入金及び長期借入金は、返済により 384百万円減少
（利益剰余金）	2,047	1,836	▲211	
（自己株式）	▲32	▲32	0	
（その他有価証券評価差額金）	30	▲112	▲143	
（非支配株主持分）	1,451	1,536	85	
負債及び純資産	18,875	18,334	▲541	

（単位：百万円）

※ （）記載している項目の金額は内書を表示。

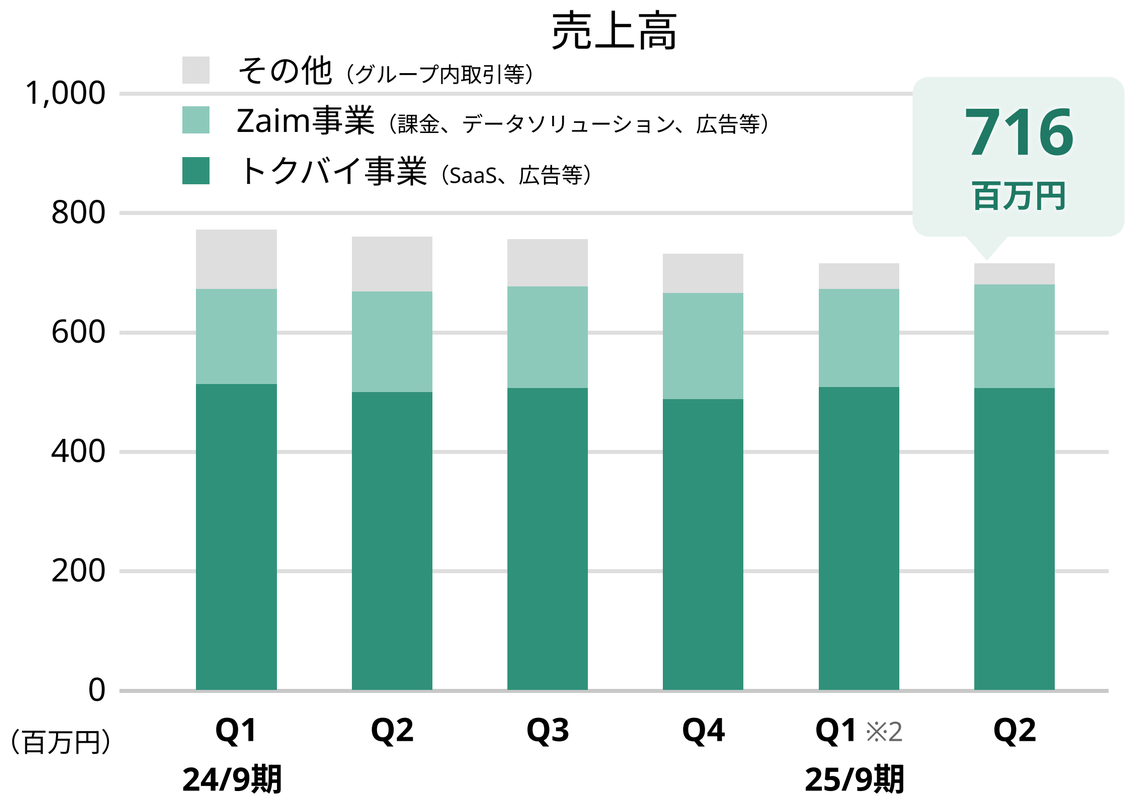
2. 各事業セグメントの概況

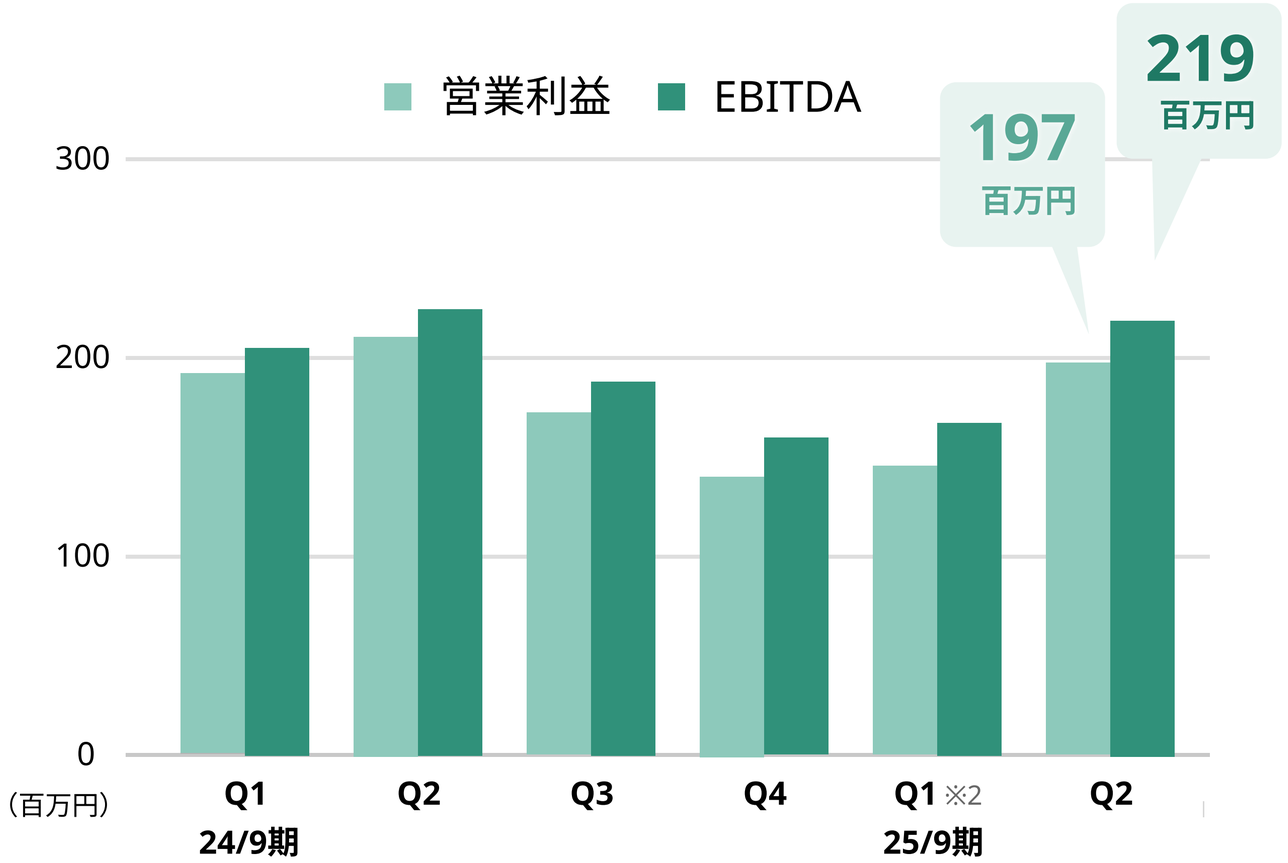
毎日の暮らし事業

毎日の暮らし事業　業績 四半期推移※1

くふうカンパニー

- 事業の統廃合やコスト削減の効果により利益は創出できているものの、売上高の成長加速に向けた対応が必要



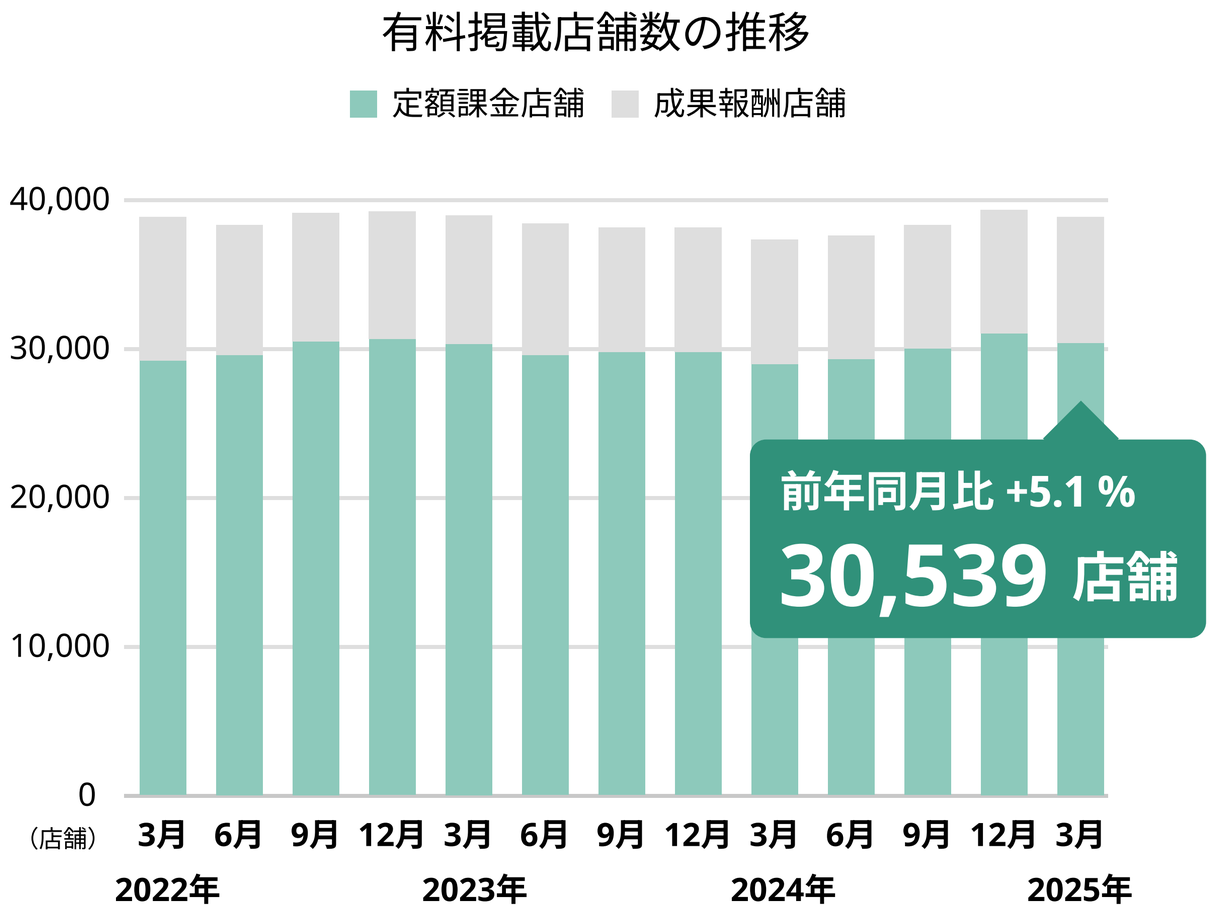


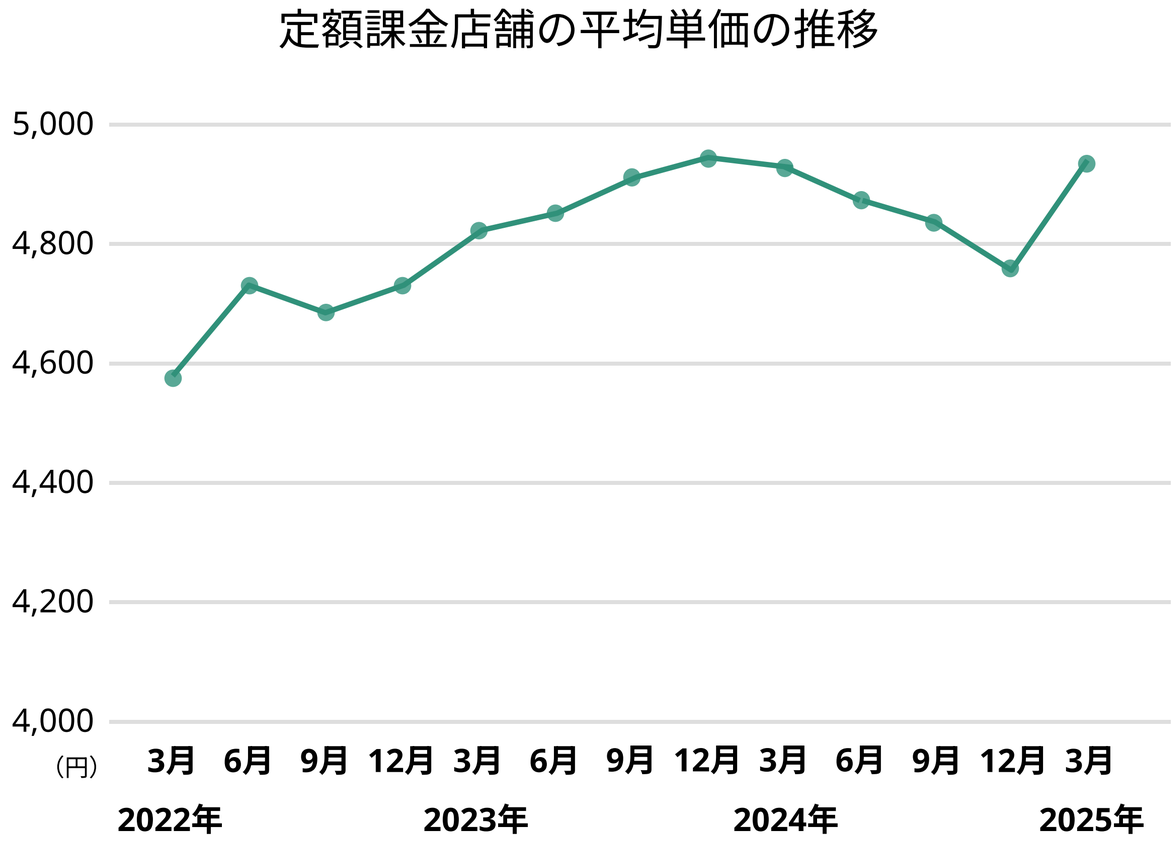
※1：2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。
※2：2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ（現 (株)くふうカンパニー）が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

トクバイサービス有料掲載店舗数と平均単価の推移※

くふうカンパニー

- 2025年3月末時点の有料掲載店舗数は 38,765店舗（定額課金店舗数は前年同月比 +5.1% の 30,539店舗）



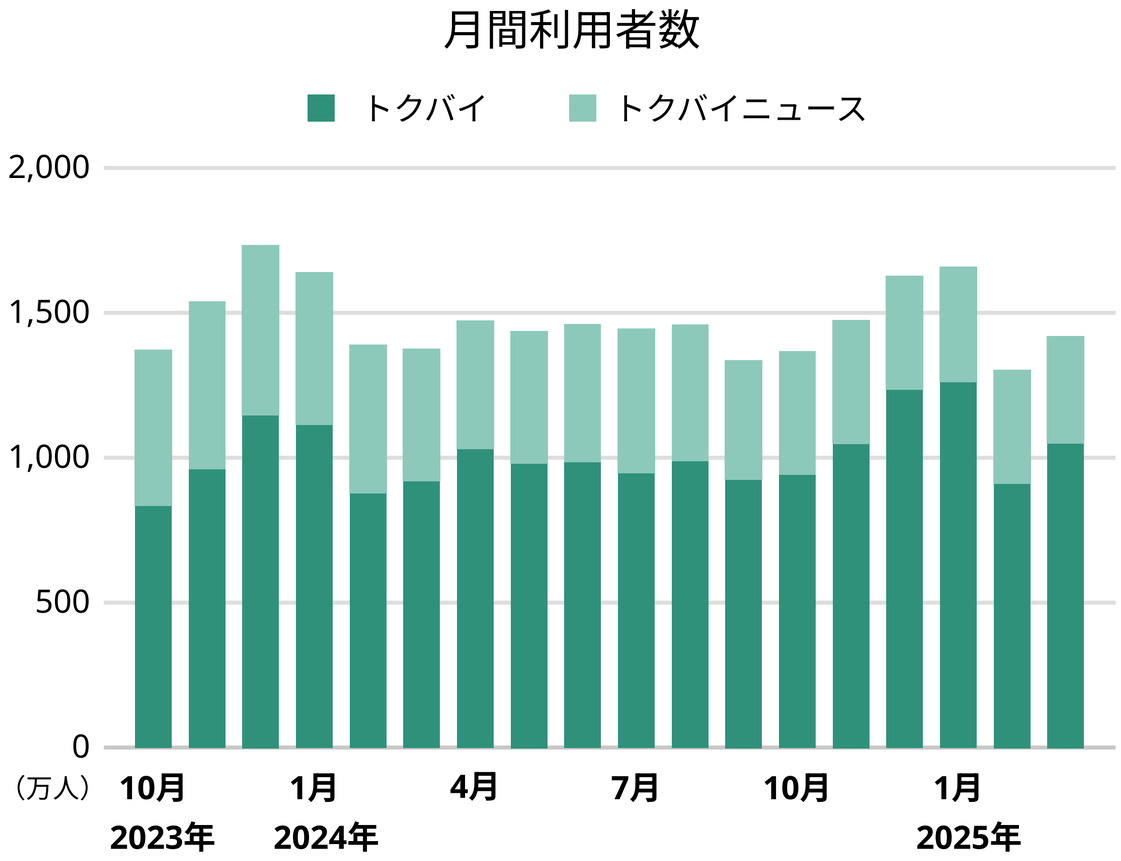


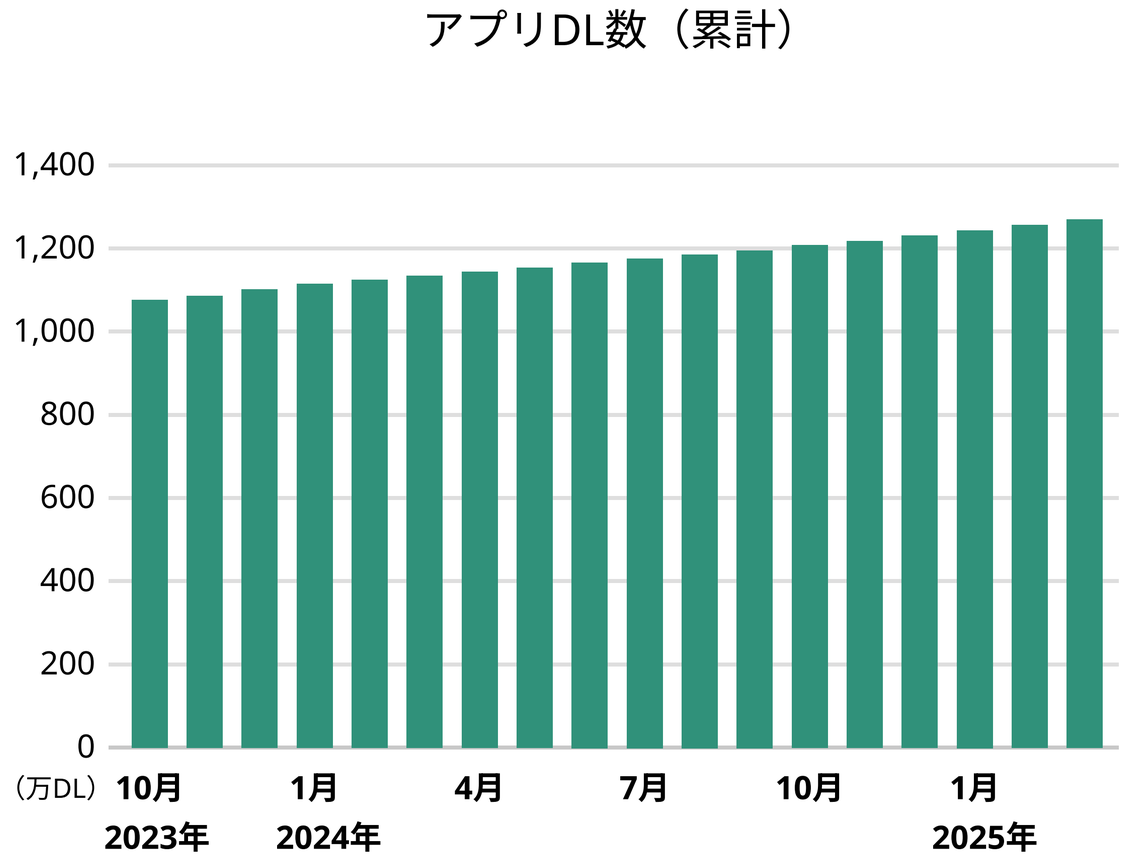
※ 定額課金店舗の店舗数及び平均単価において、コンビニエンスストア約 16,000 店舗との取り組みについては不算入。

トクバイサービス月間利用者数とアプリDL数の推移

くふうカンパニー

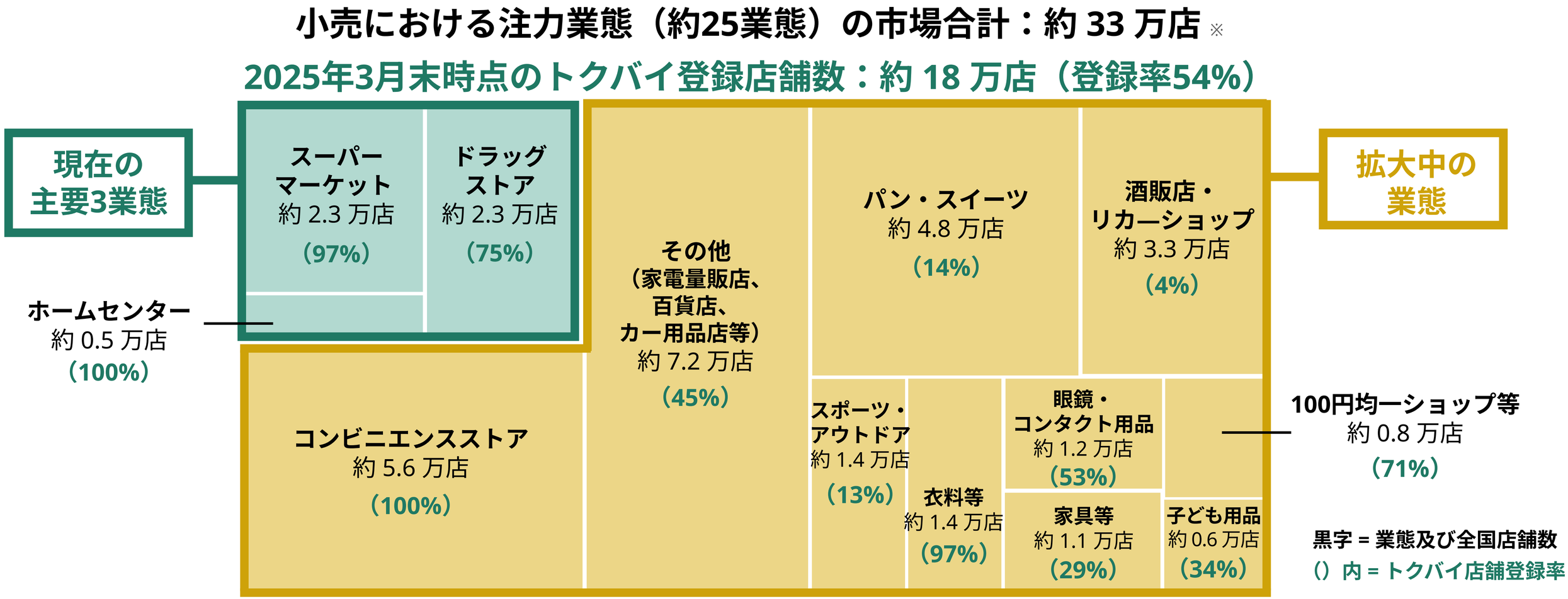
- 2025年3月末時点のトクバイサービス月間利用者数は 約1,400万人、累計アプリDL数は 約1,300万





小売の情報掲載業態の拡大に注力

- ユーザーの多様な買い物シーンをサポートしていくとともに、各小売業態の販促支援を強化していく



※ 総務省「経済センサス」、各業態の協会による公表値、その他調査会社による公表値等を基に当社集計。

デジタルチラシから地域の生活情報を網羅するサービスへ

- 営業強化やサービス提供方法の多様化等を通じて、新業態や地域サービスにおけるトライアル掲載を推進
- 業態別に新たな掲載フォーマットを提供し、多様な料金体系による有償化も徐々に進行中

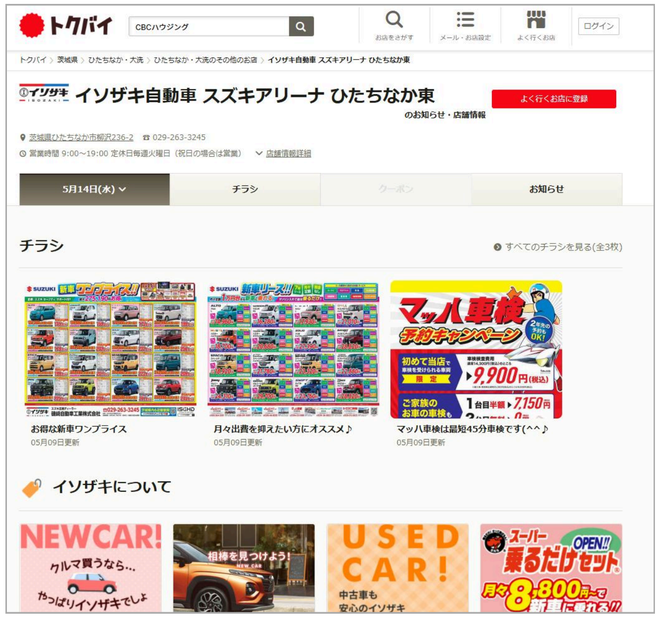
新業態や地域サービスの掲載事例

住宅展示場

CBCハウジング様の事例

自動車ディーラー

イソザキ自動車様の事例



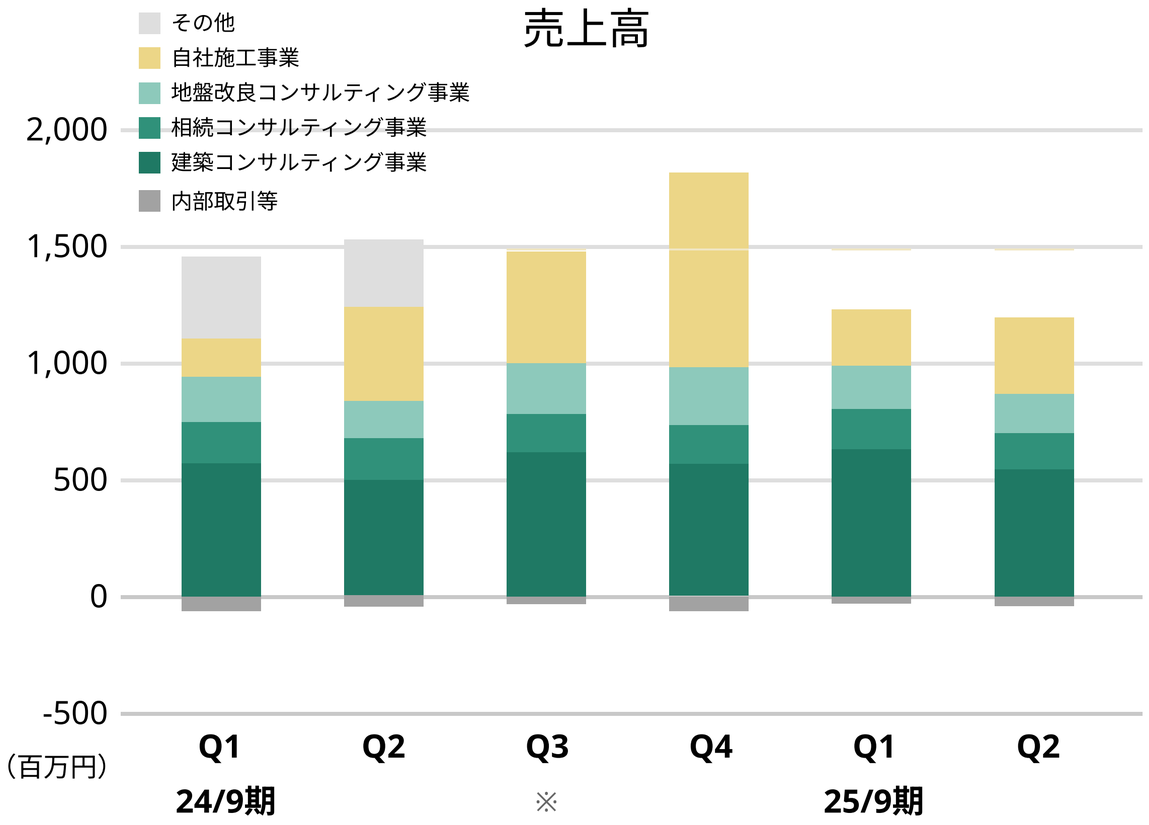
都道府県庁（広報）

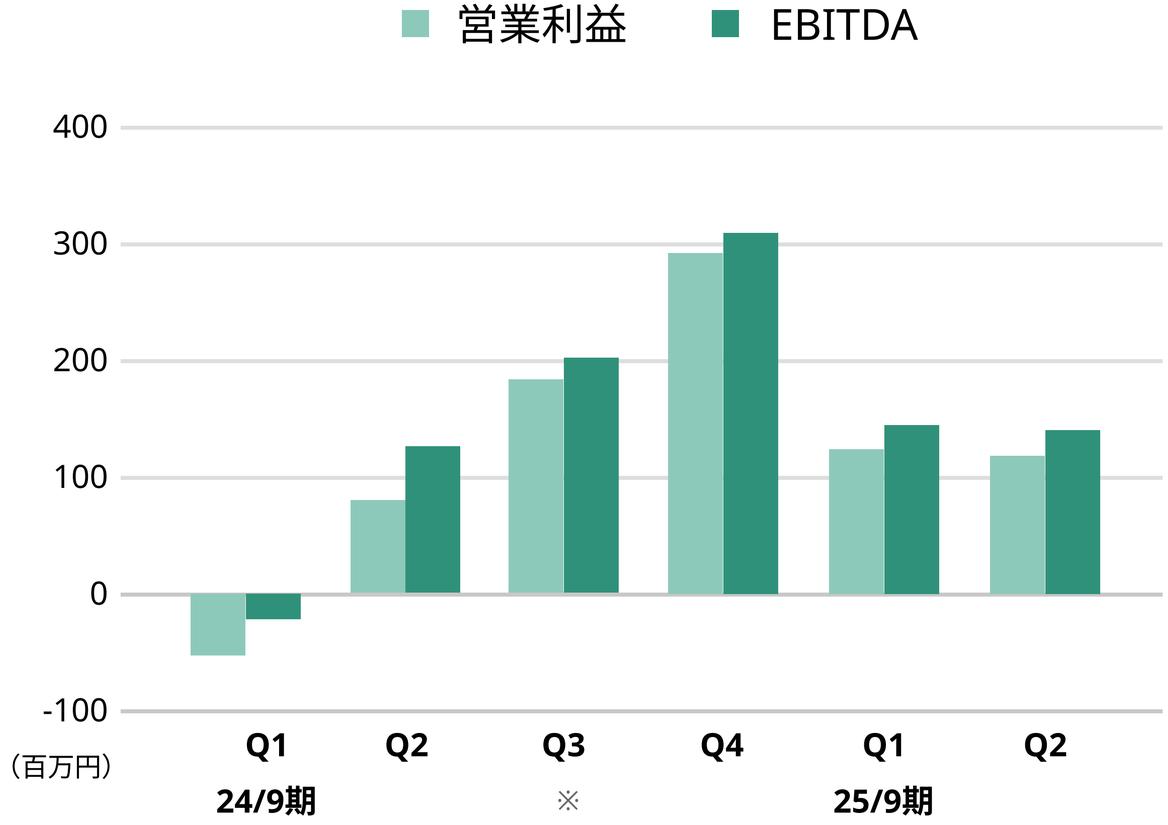
茨城県庁様の事例

ライフイベント事業

住まい領域（くふう住まいコンサルティング）　連結業績 四半期推移

- 主力の建築コンサルティング事業は堅調に推移しており、リノベーションや規格住宅等の商材の多様化も推進
- 全社的なコスト見直しと不採算事業の整理等が、営業利益率の向上に寄与

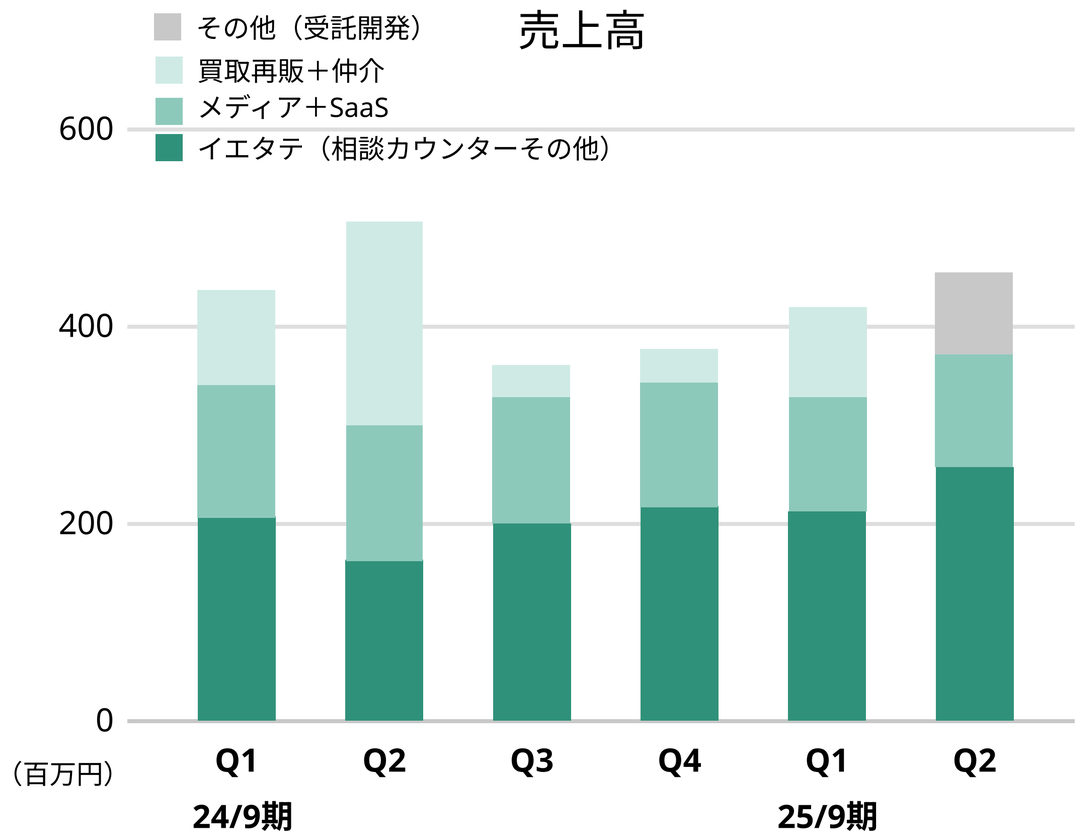


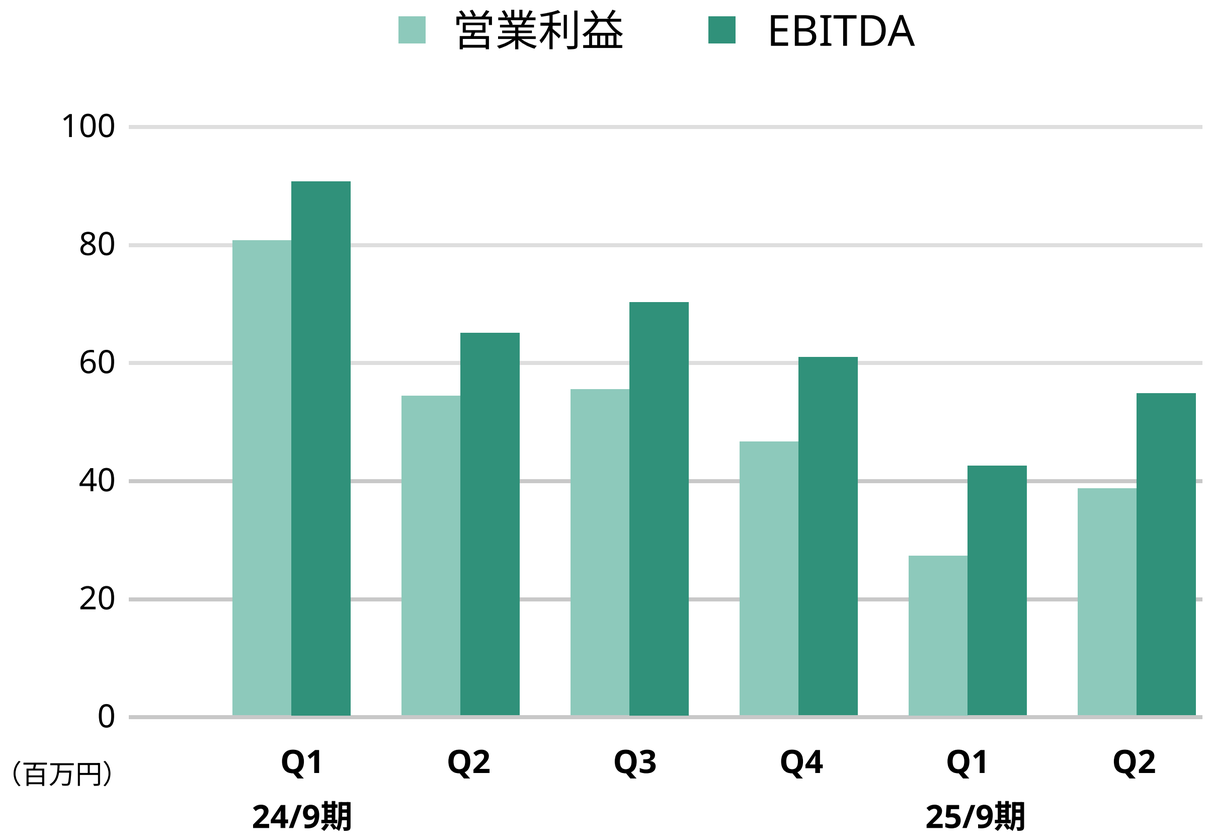


※ 2024年9月期 第3四半期連結会計期間より、株式譲渡に伴い OMソーラー(株) を連結から除外。

住まい領域（くふう住まい）　業績 四半期推移※

- イエタテ事業は順調に拡大、出店強化に伴い費用発生が先行（Q2は2店舗を出店、前年Q2末から7店舗増加し合計15店舗に）
- グループ内組織再編の一環として、くふうしずおか社が営む受託開発事業を承継

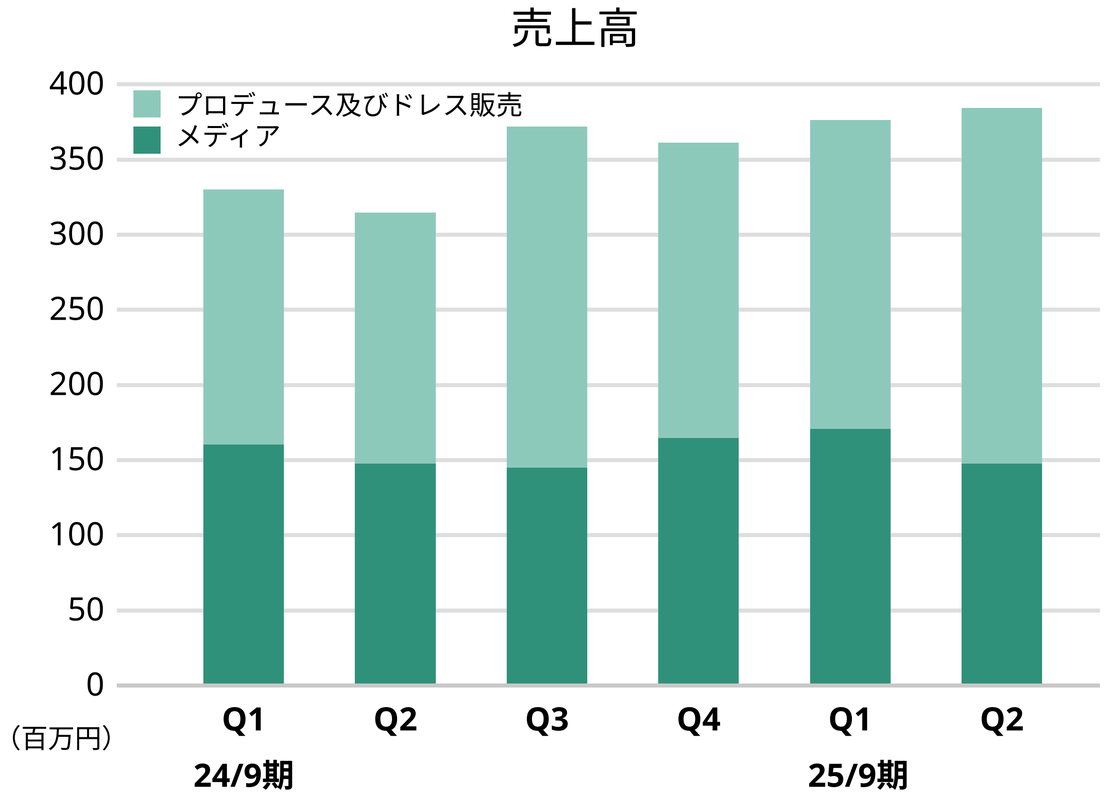


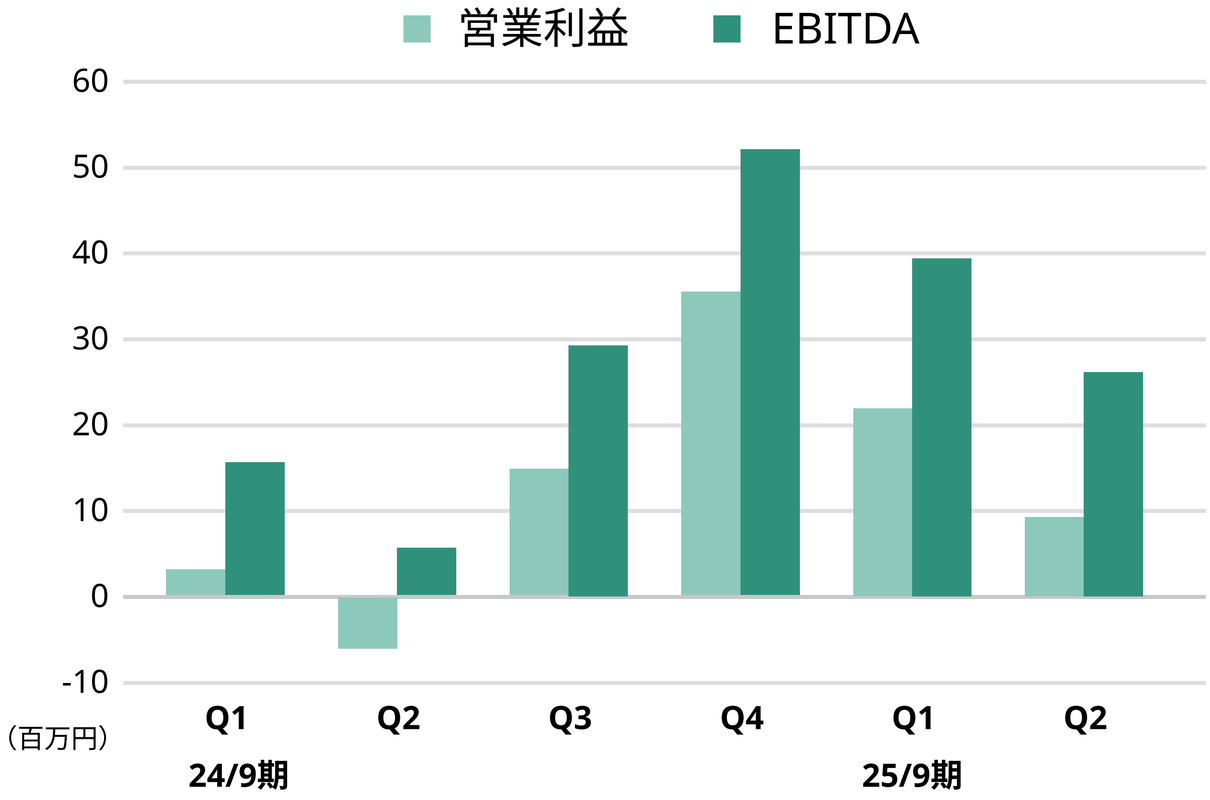


※ 2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。

結婚領域　業績 四半期推移※

- メディア事業の市場環境は苦境が続く中、式場向けサービスのさらなる拡充により売上高は前年同期水準を維持
- 結婚式プロデュース事業は引き続き施行件数が順調に推移し、領域での黒字が安定化





※ 2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。

目指す方向性

くふうカンパニー

くふうカンパニーグループが提供する全ての事業において、
オンライン・オフラインのサービスをワンストップで提供し、

No.1のサービスへ

買い物	2年後に契約店舗数＆ユーザー数で圧倒的 No.1
住まい	4年後に住宅関連施工取扱い件数 No.1
結婚	4年後に結婚式取扱い件数 No.1

免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

お問合せ

コーポレート・コミュニケーション部 IR担当

E-mail : ir@kufu.co.jp　　HP : https://kufu.co.jp/